

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふりーすたいる のびのび事業所			
○保護者評価実施期間	令和8年2月25日		～	令和8年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24家庭	(回答者数)	15家庭
○従業者評価実施期間	令和8年2月25日		～	令和8年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月16日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、小・中・支援学校での勤務経験者の配置があり、より専門的な支援ができる。	生活場面、療育場面、学習場面それぞれの場面で意見を共有し、それぞれの専門的目線や経験がより活きた支援になるように協議している。また、子ども参加型のコンサートを計画している。	教材として取り入れられるものを事業所に残し、皆が自由に観覧できるようにしたり、子どもも見て興味を持てるよう療育環境に自由に触っていい道具や、資料を設置したりする。子どもが楽しんでできる参加型のイベントを増やしていく。
2	事業所の周りには支援学校や小・中学校・図書館・運動公園等の社会資源が多くあり、受け入れ体勢が整っていて、いろいろな経験をすることができる。	小・中学校、支援学校のイベントに職員が出向いたり、週末や長期休暇の時に地域の小学校のグラウンドを使わせてもらい、交流させていただく。また、図書館の利用で大好きな本を見たりや音楽・DVD視聴など落ち着いた環境・社会資源を活用することができる。	事業所でのイベント時に地域へお知らせし、事業所を知ってもらうとともに、交流を楽しんでもら機会を増やす。
3	小・中の保健体育やヨガのインストラクターの資格を持った支援員や音楽にたけた支援員がいて、ひとりひとりに合った運動やリトミック等の療育ができています。	運動療育の課題を考える時にそれぞれ職員の経験に基づいて内容を考えたり、タイムリーな運動療育の情報も取り入れたりしている。また、音楽に合わせて体を動かすことにより感性や自己表現力を高めより子どもたちが楽しみながら課題に臨めるようにしている。	子どもたちが楽しんで参加できるように、道具を使った療育や、からだを使った療育・音楽に合わせて運動するなど目的を絞って一定期間取り組むなど工夫する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	自由に外で遊べる場の確保が難しい。	国道に面していたり、庭などがなく、ウィークデーに外で遊ばせることが難しい。	長期休業中等には地域の小学校のグラウンドや公園・体育館を利用して活動する。
2	保護者同士の交流の場が少ない。	コロナの影響のあり、計画していた保護者交流会ができないままになっている。	子ども達の様子をおたより等で知らせたり、保護者との交流会を開き、保護者同士が子育ての経験を話し合ったり、悩みを話せる場の提供をおこなう。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日					回収数		
	令和 8 年 3 月 31 日					24家庭	15家庭	
事業所名	ふりーすたいる のびのび事業所							
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	66%	34%	0%	0%	なし	整理整頓に気を付けていきたいと思ひます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	80%	7%	0%	13%	なし	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	66%	34%	0%	0%	構造化された環境になっている。バリアフリーではない、2階と1階で先生が分かれて見せてくださっている	子どもに利用しやすい環境を心掛けまひす。また、2階を利用するときは職員を配置します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	93%	7%	0%	0%	目の届きやすい場で支援していただひている。	これからも子どもたちが過ごしやすい環境づくりに努めていきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	87%	13%	0%	0%	なし	これからも保護者の方や職員間でしっかり話しあい本児に合った支援を提供していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	87%	0%	0%	13%	なし	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	なし	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	87%	7%	0%	7%	なし	モニタリングや支援計画書の説明を丁寧に行っていきたいと思ひます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	なし	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思ひますか。	87%	7%	0%	7%	なし	同じ課題が長期にならないように子どもたちが興味を持ったり、楽しんで取り組めたりする課題を提供します。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	60%	0%	8%	33%	長期休みには学童の子と仲良く遊んだり、グラウンドで地域の子と遊んでいる。	長期休み等に、児童クラブ、他事業所、地域の子どもたちと交流しています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	契約の時に聞いている。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	モニタリング等で聞いている。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	51%	21%	7%	21%	なし	十分な情報提供やご家族の参加できる研修等計画したいと思ひます
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思ひますか。	100%	0%	0%	0%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	なし	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思ひますか。	86%	7%	0%	7%	なし	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	46%	0%	21%	33%	兄弟で利用のため楽しんで行っているのと、合同イベントなどあり、素敵だと思う。なし	年に1回交流会を計画していますが、今年度はできませんでした。早い時期にできたらと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	80%	7%	0%	13%		迅速に対応できるように体制を作っています。何かあった際は迅速にご相談ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思ひますか。	86%	7%	0%	7%	いつも早い対応して下さっている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	72%	7%	0%	21%	なし	なかなかSNSなどにアップできていません。皆様に見てもらって知ってもらえるように更新します。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思ひますか。	80%	0%	0%	20%	なし	個人情報の取扱いに十分に留意しています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	66%	0%	0%	34%	契約の際に説明してくださいました。台風などの対応についてはおたよりに書いてあった。	契約の際にお伝えしますが、確認したい方はいつでも開示できますので、お尋ねください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	73%	0%	0%	27%	消防署に行ったり、避難訓練している。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思ひますか。	86%	7%	0%	7%	なし	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思ひますか。	80%	0%	0%	20%	すぐに連絡をくださる。	事故等がないように心がけます。万が一事故等が起きた時には、マニュアルに沿って迅速な対応・説明をしていきます
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	87%	13%	0%	0%	対応も早く何かあれば連絡下さり安心できます。仲の良い子がいない時には不安で行きたくない時もある。	子どもたちがまた来たいと思っで通所できるような事業所にしています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	87%	13%	0%	0%	楽しんでる！！お友達に合う楽しみもある！！仲の良い子がいない時には不安で行きたくない時もある。	お友達がなくて不安の時は支援者が寄り添って不安の解消に心がけます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	いつも、ありがとうございます。	何かありましたらご連絡ください。速やかな対応を心がけます。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ふりーすたいる のびのび事業所		公表日 令和 8 年 3 月 31 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		限られたスペースではあるが、子どもの発達や課題に応じて各支援室の子どもの人数の調整をしながら療育に取り組んでいる。事故防止のため、整理整頓を心がけている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		必要に応じた人員配置ができています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		1日の日程等の表示をしたり、子どもに応じた課題指示ボードや課題ボックスを作り、療育しやすい環境を整えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		出勤時、退所時には、掃除等行い環境整備を行っている。また、運動療育時には活動場所の再設定を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		1階と2階の部屋があり、子どものニーズに応じて利用できるようにしている。また、クールダウン等を行うことができるスペースも準備している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		週1回職員による会議をし、PDCAサイクルの見直しを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表の回答をまとめ、事業所内で周知し、改善できるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		不定期に会を行い意見交換をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		行えていないが、今後取り入れる予定である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修の年間計画に基づき、本社より研修の情報提供を受けたり、タイムリーな研修を行ったりして月に1回以上の研修を実施する。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリング毎にアセスメントシートを振り返り、その都度個々のニーズを計画書に反映できるようにしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		週1回の会議を行い、情報交換・共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		モニタリングや担当者会、日々の送迎時にその都度情報交換を行い、確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って必要な項目を設定している。具体的な支援内容が適切だったかは、送迎があり、支援終了後には職員間で話をする事ができないため、翌日に話をし、午後出勤の職員にはそそい次第周知している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		週ごとでテーマを決め、取り組めるようにしている。その日利用する子どものニーズに応じて内容を変えることもあるため、話し合っ決めていくようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節や学校での取り組みを活かせるよう約1週間ごとで活動プログラムを考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		長期休業中は、集団活動を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員の勤務の関係もあり、全員揃っての確認は難しいので、ホワイトボードを用いて、その日の支援内容や、役割分担について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		翌日の朝、打ち合わせや前日の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録を残し、ファイリングしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		フリータイム時には、自分の好きな活動が選択できるよう環境設定している。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		事業所周辺には、地域資源が多くあるので活用する。	協力医療機関は近藤医院になる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校から下校表をもらい、利用者の利用予定表を作成し、学校や児童館に配布している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保育所等とはできていないが、児童発達支援センターとは担当者会をしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			現在、該当児童がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			できていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		できる限り参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		提供記録簿を活用したり送迎の際に話をさせていたたりしている。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			できていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際にしっかり説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングの際に保護者の思いも聞いた上で計画を立てている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者から相談があった場合には早めに日程を決めてお話を伺って保護者に寄り添った助言や支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			できていないので早めに開催したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		担当を一本化し、対応、周知している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			おたよりは月1回発行しているが、SNSはなかなか更新できていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		カギのあるロッカーに個人別にファイリングして管理している。	
非常時等の対応	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			連絡等は二重、三重に行っている。また、写真等にとって、視覚化したものでお知らせしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			できていない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			マニュアルを周知したり季節により発祥しやすいものについては、おたよりを用いてタイムリーに周知はしたりしている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			避難訓練は定期的にできているが、状況別など細かく内容を確認できていない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		フェイスシートに書いてもらってアセスメントで確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		必要な子に関してはもらっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		必要時に連絡が取れるよう定期的に取り組み内容の周知と、連絡先の確認を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例は記録に残し共有している。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内では2月に全職員で研修を行っている。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約の際に説明・同意してもらっている。		